



★★★★★
Vinum
『ヴィヌム 2024』
4.5星を獲得

ラインガウのトップ生産者「プリント」が造る 最高峰のグローセス ゲヴェックスが限定入荷！

1970 年生まれのフレート プリントは、1991 年に趣味で、自宅のガレージでのワイン造りを始めました。それからわずか数年の間に、ラインガウのワイン造りに重要な変革をもたらした人物として知られるようになりました。先に述べたクロスター エーバーバッハですが、実はこの醸造所にも陰りが見えた時代があり、その名声を再び日の下に押し上げたのが、1995 年からこの醸造所で勤務を開始したフレートでした。当時のクロスター エーバーバッハでは、ワインに甘みを残すためにズースレゼルヴ（発酵前のブドウ果汁）を加えており、フレートはこれに異論を唱え、偉大なシュタインベルガーが持つ特別な土壌の個性、ミネラル感を最大限に引き出す努力を行ったのです。その結果、シュタインベルガーはかつての威光を取り戻すこととなりました。この功績が認められたフレートは、2002 年にケラーマイスター（醸造責任者）に就任しますが、2004 年 9 月に醸造所を退社しています。その理由は、ハルガルテン村にある自身のワイナリーに専念するためでした。



フレート プリント（2001 年訪問時）

フレートは、その才能を自身のワイナリーでも発揮します。独立して間もない 2005 年 1 月には、厳しい認定条件を持つ VDP（ドイツ優良ワイン生産者協会）への加入が認められ、同年より、クロスター エーバーバッハで開催されるオークションでも彼のワインが競売にかけられるようになりました。ドイツの著名なワインガイドの内、最も権威ある『ヴィヌム』での評価は上がり続けており、2021 年版で 3.5 星、2022 年版で 4 星、2023 年版ではついにプリント ハークと並ぶ 4.5 星を獲得し、2024 年版でもこれを維持しています。また、同誌の 2022 年版では、フレートプリントが「Aufsteiger des Jahres（今年のライジングスター）」として表彰されています。クロスター エーバーバッハ醸造所勤務時代から彼のワインの品質を見て来た弊社としては、ようやく時代が彼に追いついた、と感じられる嬉しいニュースです。このニュースが、彼のワインの素晴らしさをさらに世に広めるきっかけとなることは間違いないはずです。



フレートが造る珠玉のワインは、生産される前に予約で埋まってしまうほど人気です。しかしフレートは、「私はワインメーカーではない」と言います。「品質が最高値なのは収穫直前だ。収穫した葡萄に、ワインメーカーが手を加えれば加えるほどワインの品質は落ちる。つまり、畑仕事は何より大切ということだ」。その言葉を表すように、2009 年からオーガニック農法を選択し、2018 年には公式にビオディナミを開始しました。有機栽培は「マーケティングのためではなく、品質向上のため」だと強調します。当初 5ha だった畑は 9ha まで拡大しましたが、ワイン造りの哲学は変わっていません。私たちが 2004 年に彼の元を訪問した時、「ハルガルテンのために良いことをしていきたい。それが嬉しいし、夢だった。だから中途半端なことはしたくない」と熱く語ってくれましたが、その想いは今もなおワインの中に確かめることが出来ます。

2021 年、そんなフレートのもとに思わぬ幸運が舞い込みました。かの著名なシュロス シェーンボルンが、ラインガウにおけるグラン クリュともいべき銘醸畑の数々を、賃貸契約に出すというのです。今年 3 月に現地を訪ねた際、フレートはこのことについて嬉しそうに話してくれました。「この話が出た時、最初は契約するかどうか迷ったが、こんなチャンスはなかなかないと思い、契約した。マルコブルンは最高の畑で、借りられたのはとても小さな区画だが、夢みたいだ」。フレートは、シュロス シェーンボルンとの間に、「マルコブルン」、「ヌスブルンネン」、「ベルクシュロスベルク」賃貸契約を結びました。フレートは現在、自身が所有するハルガルテン村を代表する「ユングファー」と「シェーンヘル」、エストリッヒャー村の「ドースベルク」、今回新たに賃貸契約を結んだエアバッハ村の「マルコブルン」、ハッテンハイム村の「ヌスブルンネン」、リュードスハイム村の「ベルク シュロスベルク」の名だたる銘醸畑から、ドイツ最高峰の辛口ワイン「グローセス ゲヴェックス/GG」をリリースしています。『Wine Spectator』の元編集長で、2010 年に独立し自身のウェブサイトを立て上げたジェームス サックリングは、これらの 2021VT の GG を絶賛しました。「マルコブルン」に 98 点、「ユングファー」と「ベルク シュロスベルク」に 96 点、「シェーンヘル」に 95 点を与えています。

※ヴィンテージ、価格など記載されている情報は 2024 年 1 月時点のものです。

ハルガルテン村のトップ クリュのひとつ 「シェーンヘル」からの複雑で力強いGG

ハルガルテナー シェーンヘル
リースリング グローセス ゲヴェックス 2021
Hallgartener Schönhell Riesling Grosses Gewächs

【110本限定】

特級畑「シェーンヘル」はハルガルテン村の西側に位置し、非常に日当たりのよい南向きの斜面に広がっています。石の多いレス（黄土）とローム、少し砂の混ざる土壌です。保水性の高い土壌のため、厚く乾燥した夏でも葡萄の根に水分が供給されます。このワインに使用するのは1971年に植樹した樹齢50年の葡萄です。樹齢が高いため葡萄の実は小さく引き締まっています。一部、過熟の葡萄も混ざっており、ワインに複雑さを与えています。フレートは、「粘土が多く深いため、強くはっきりとした味わいになる土壌。全房圧搾をすることで、ワインが力強くなりすぎないようにしている」と話します。発酵、熟成はステンレスタンクで行います。



★「ジェームス サックリング.com」95点

★「ヴィヌム 2023」93点

白・辛口 <スクリュューキャップ> <Alc.13.0%>

国/地域等：ドイツ/ラインガウ/VDP グローセ ラーゲ 葡萄品種：リースリング

熟成：ステンレスタンク 残糖：4.1g/L 酸度：7.6g/L

品番：KA-845/JAN：4935919198455/容量：750ml

¥10,450(本体価格¥9,500)

非常に繊細で洗練された辛口リースリング。何気なく飲んでしまうと気が付かないほど繊細だが奥に秘められたパワーがある。しかしそれを乗り越えた者はカモミール、レモンバーム、ドライフラワーのアロマの奥に豊かなミネラルを感じることが出来る。そしてこれらの要素はこのリースリングに素晴らしい魅力を与えている。オーガニック栽培の葡萄を使用。

——「ジェームス サックリング.com」より



ハッテンハイム村を代表する銘醸畑のひとつ 「ヌスブルンネン」からのフルーティなGG

ハッテンハイマー ヌスブルンネン
リースリング グローセス ゲヴェックス 2021
Hattenheimer Nussbrunnen Riesling Grosses Gewächs

【110本限定】

特級畑「ヌスブルンネン（クルミの泉）」は全体でわずか9.7ha、その名前はクルミの木に囲まれた泉に由来しています。「マルコブルン」、「ヴィッセルブルンネン」とともに、「ブルンネンラーゲン（泉の畑）」と呼ばれる3つの著名な畑に数えられています。ライン川に面し、南から南東向きの畑です。斜面の低い部分に位置しているため、ライン川の日光の反射を受けるだけでなく、北からの冷たい風からも守られています。砂、ローム、マール、分厚いレス（黄土）を含む土壌からフルーティで力強いワインが生まれます。保水性が高いため、厚く乾燥した夏でも葡萄に十分な水分が供給されます。フレートは、「樹齢25年の区画。フルーツの香りがあり、果皮からもたらされる軽めのタンニンが特徴的」と話します。



葡萄が完全に熟した状態で収穫したら、直接圧搾し、ステンレスタンクで発酵させます。熟成も綺麗な澱と共にステンレスタンクで行います。柑橘系の果物のアロマと共に黄色の果実の要素があり、非常に調和のとれたミネラルが感じられます。長期熟成のポテンシャルを持ったクラシカルなリースリングです。ワインガイドに掲載されていないため評価はありませんが、プリンツのGGでは最もフルーティでエレガントな個性を持つ、素晴らしいワインとなっています。

白・辛口 <スクリュューキャップ> <Alc.13.0%>

国/地域等：ドイツ/ラインガウ/VDP グローセ ラーゲ

葡萄品種：リースリング 熟成：ステンレスタンク

残糖：5.1g/L 酸度：7.9g/L

品番：KA-846/JAN：4935919198462/容量：750ml

¥10,450(本体価格¥9,500)

